



桃岩展望台で観光客の方と全校6人の神小っ子でパチリ

いじめは 大人社会の問題です

いじめは学校だけでなく、大人社会 職場 地域 弱者のいたる所に存在しています。

子どもたちは、大人社会の影響を受け、いじめにさらされながら生活しているため、心が傷つきます。

傷ついた心はいじめの芽となつて表れることがあります。子どもが接するメディアやインターネットを含め、他人の弱みを笑うものになったり、わいせつな文化の氾濫。スマホや携帯、通信ゲームの普及。こうした状況が、子どもの心を蝕んでいます。



大人が力を合わせれば いじめの芽は摘みとれる

学校は、常にいじめの芽が生産される仕組みの中に置かれています。

この現状は、学校の努力だけでは解決できないほど、深刻です。ですから、親の力を貸してほしいのです。学校と家庭 地域が協力し合えば、いじめの芽を早いうちに見つけ、それを摘み取る事ができるのです。



大人が力を合わせれば、 いじめの芽は摘みとれる

へんだなっと思ったら
すぐに話しましょう

なんと言っても早期発見が大切です。子どもの様子がいつもと違う「○○ちゃんがいじめられてる」など、我が子だけでなく、子ども達に関わる不安や変化に気づいたら、すぐに先生と連絡を取り合しましょう。

情報の取扱は、慎重に行います。何もなければそれにしたことはありません。

これならできる 4つの 力合わせ

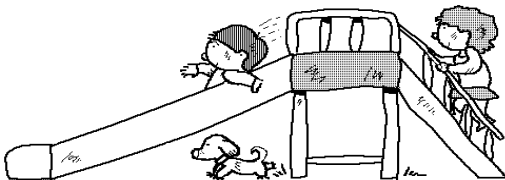


親と教師が学びあい、
賢い子育てを

スマホ 携帯 ゲーム、ネットなど、子育ての悩みや不安は尽きません。こうした問題について、中学校区のPTAとして、親と教師が学びあいましょう。

学びあえば、賢い子育ての知恵が生まれます。

学習会にたくさん参加しましょう。



資料を活用して
子どもの様子を共有して

学校では「いじめ実態調査」など児童や保護者に協力していただいたアンケート結果を資料として公表していきます。

こうした資料は、学級懇談会や日常会話での素材として活用し、子ども達の実態や課題、学校と家庭の役割などについて、いつでもどこでも、だれでも、気楽に話し合いましょう。

学級懇談会では、三課題を話し合いましょう

- H25年度から親と教師できついの力合わせを提案しています。
 - ① 家庭学習のできる子に
 - ② 基本的な生活習慣の確立を
 - ③ 体力の向上を
- 運動会や学芸会での元気な発表。フットサル大会や陸上記録会での頑張り。

家庭学習や礼文検定での頑張りなど、子どもの成長がうかがえます。一年間の力合わせの成果です。

H26年度も継続していきます

